

会 議 の 経 過

1 開 会 午後1時30分

(福井教育長) これより第16回教育委員会定例会を開会する。

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員の選出 田民委員

4 議事

(1) 議案第30号 平成28年度教育費補正予算について

教育総務課長 (資料に沿って説明)

生涯学習課長 (資料に沿って説明)

事務局長 (資料に沿って説明)

教育長 以上、地震関連の補正予算の、4本目になるかな、提案です。いかがでしょうか。
トータル的に見れば学校関係で4億、それから公民館がざっと1億くらいですね。
それから体育施設が2億が来てますけれども、それ以外も含めて3億近いところですかね。それから文化財がこれからということと、博物館が7,000万、図書館のほうは少しですが、給食センターが7,000万、合わせると10億以上。

委 員 今回の震災対応で？

事務局長 はい、震災だけで。

教育長 大きな額になりました。なんとか、今今というわけにはいきませんが、数年かけてやっけていかなくてはいけないなと思います。

(各委員異議なし)・・・承認

(2) 議案第31号 学校医の変更について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 学校医の変更についてよろしゅうございましょうか。

委 員 変更理由と言うのは何かあるんですか。

その、ルールというのは。

学校教育課長 歯科医さんのほうのご都合ということです。

委 員 細かいことですが、同姓の先生なんですけれども、親子関係ですか？という
のが、倉吉にもあるのになと思ってちょっと感じたんですけれども。

学校教育課長 歯科医師会の事務局にお願いしてのことです。

教育長 すべて向こうに一任して、向こうが割り振りをされますので。

委 員 わかりました、すみません。

(各委員異議なし)・・・承認

(3) 議案第32号 平成28年度末倉吉市学校教職員人事異動方針について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 毎年の方針を決めながらということですが、鳥取県のほうの方針にのっとってということですね。

学校教育課長 はい、そうです。

教育長 なかなか、校長先生のご意見を尊重してばかりでは人事異動はできませんの

で、そのあたりのところは県のほうと調整しながらやっていくことになるかと思いません。

委員

ちょっとこの議題に外れるかもしれないんですけども、最近のニュースの中で新人の教員の方が担任を受け持ち、過労死というのか自死というのか、そういう話題も出ておりますが、あの当地におけるというかですね、新人の方が担任を持つような事例がどれくらいあるのかなと、ちょっと興味を持ったものですから。もしわかれば、わからなければ結構なんですけれども。

それと、学校の特殊性なのかなと昔から思っておりましたが、卒業してすぐ担任を持たれるケースがままあって、大変だなと思っているのですが、親御さんも保護者の方もすごいですし、先生の資格をとったといっても1年生ですし、親御さんも子どもの年齢しか親をやってませんし、そのあたりで過重労働というのが、精神的なケアがどうなのかなと、1回聞いてみたいなと思っておりましたので、この場をお借りして、もし場所は違うところで話が出ればそれでも構いません。

学校教育課長

市内におきましては、新規採用の職員につきましては、ほぼ担任を持っております。その中で、先ほど心配がありましたけれども、負担のところの軽減といいますか、そのところで指導力向上を目指しながら、加配の職員を配置したりということで、これは非常勤であります。そういったことをしております。また、あるいは拠点校と言いまして、中心校を持ちながらですね、そういった加配を1名配置することで、各学校新採がいる学校にというところで、そのところで授業を見て回ったり、あるいは子ども達の対応について指導を行っているというところでございます。

委員

みなさんそうやってこられた、経験者の方はそうやってこられたんでしょうけれども、一般社会においてみると、過重労働かなとつい思ってしまうんですね。そのあたりのケアは教育委員会がしないと、子どもを守れないんじゃないかなというふうに思うんですね。なんかいい策も無いんですけども、善処というかケアをしっかりしていただければと思います。

学校教育課長

教育委員会と致しましても、県のほうが初心者研修ということで、月に1回程度研修を設けておりますし、市のほうに関しましても、年に5回以上研修を持つようにしております。その中で情報交換等を行いながら、悩みをそれぞれ共有しながらというような取り組みもさせて頂いているところです。

教育長

それから大学を出てすぐ新採用ということは少ないですから、ある程度講師で経験しながら来ておりますので、その辺のところは少しありがたいかなとは思いますが、いつかはそれはやらなくちゃいけないところですので、チームとしてやっていく必要があるんだろうなと思います。

ご心配の向きについて、やっぱり、今保護者のほうも視野が非常に狭くなってきていらっしゃる方も結構ありますので、その辺のところはうちも顧問弁護士とか悩み相談とかそういう体制を整えながらやっていこうと思っています。ありがとうございます。

それでは異動方針についてはよろしいでしょうか。

(各委員異議なし)・・・承認

(4) 議案第 33 号 倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区保存計画の変更(特定物件の追加・削除)について

文化財課長

(資料に沿って説明)

教育長

基本的に登録になったものが抹消されるということは絶対無いわけですがけれども、その辺はいいですかね。

案件としては非常に重要性が低いというもの、半分壊れかけているというようなものもありましたので、実態に合わせてというような形で、保存を合わせていきたいということでございます。

よろしゅうございましょうか。

(各委員異議なし)・・・承認

5 協議事項

(1) 平成29年度倉吉市立小中学校土曜授業実施について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 随分と議論をしながら実施してきましたけれど、大分落ち着いてきた感じですかね。

学校教育課長 それとちょっと付け加えてよろしいでしょうか。この日程につきましては、県のほうの教育委員会が調整しまして、候補日をこのところだったらスポ少関係あるいは、他の行事等が空いているということで候補日を挙げてきていただいております。

教育長 なお、この候補日しかなかったというのちょっと付け加えさせていただきます。なかなか県大会とか、そういったことの調整が非常に難しいかもしれません。

でもまあ、そういった形で現在できていますので、出来るだけこれを重視していきたいなと思っています。

よろしゅうございましょうか。

(各委員意見なし)

(2) 倉吉市立小・中学校の適正配置推進について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 指針どおり進めかけたところが10月の地震ということで、完全にストップしている、地域のほうにも協議会を立ち上げませんかという思いもありますが、ちょっと今そういう段にもならんのではないかなという感じもしております。それぞれちょっと、今日市長さんとも協議の中で、この問題は話しして行かないとは思いますがけれども。

教育委員さんの中で、地域の中でどんなふうな感触をお持ちでしょうか。

委員 難しいですね、やっぱり地域に学校がないといけないという思いがちょっと出てきたとすれば、今早急に言ってもなかなか難しいかなと思いますけれども。

委員 ちなみにこの書いてある文書で確認したいのはですね、倉吉市小学校適正配置協議会をやるのに費用は結構かかるんですかね。

学校教育課長 費用はほとんどみておりません。

委員 そうですよ。

ということは、財政的には進めたほうがいいのかということですよ。地震で今は感情的な面で、どこか4月から何とかって感じを決めて、でも早く進めなくちゃって感じは僕は思っていますので、本当は1月くらいからとは思ってまいますが。感情が収まったところは、まずこういった件、ヒビだとかの手立てがついた時点でやるっていうのがいいのかなどは思っております。なにかけじめとなる部分が、ケリがついてから。

委員 私もそれは早く進めるのに越したことはないかとは思いますが、でもやはり地震の影響とか、気持ちの問題とかかなりあると思うんですね。だからやはり1月からというのは、ちょっと早いかなと私は思います。もう少し時間を置く必要があるのかなと。気持ち的には本当は進めないけんとは思いますが、財政的な面とそれも含めてもう少しだけ時間を置いたほうがいいのかと私はそういう風に感じております。

委員 そうですね。
時間を置いたほうがいいとは思いますが、じゃあいつまでというのが僕としてはありますので。

委員 社の公民館がまだ復旧してないというのがあって、やっぱり地域の拠点がしっかり確実に動けるようになってからという気持ちもやっぱりあります。

気持ち的に落ち着くかどうかだろうと思うので、そういったこともやっぱり重要。みんなが集まって相談する場がきちんと出来ていない状態で、落ち着いては話できないという感じでおると思いますので、そういう施設もきちんと対応が出来てからというのも、地域のみなさんの気持ちの中でもあるんじゃないかなと思いますけれども。

委員 それは出来上がってからということですかね。

委員 利用がきちんと出来るようになってからというんですかね、社は今はたしか事務所が使えるくらいでしたよね。

委員 1月は無理ですね、1月中は。

教育長 社はどうかね。

生涯学習課長 社のほうは大体年内に完成することで今準備をして進めております。

年明け早々にでも検査という形が出来るかなということで、1月の、それこそ1月いっぱいまでならずに早めに出来るかと思います。

委員 基本的には多分4月が区切りかなと。

その中で全部公民館もきれいに使える、それからブルーシートも少しずつ外れてくる、そうすると4月から動けるようなタイミングで準備を進めていくというのも一つかもしれませんね。

心理的なことをいうとずっと1年くらい待てやという人も中にはあるでしょうし、ケリがつかないというのがありますんで。そんなイメージを持ちますね。

教育長 この3学期の間、1月2月3月が動けるかなというのがね、ちょっとね。

話は持っていく準備はしてあるんですけども、受け入れ側のほうがそれどころじゃないと言われちゃうと難しいと思います。

タイミングは実はいつがいいかなというのがね。

委員 4月かなあ。

教育長 行政のほうも、市議会の中で市長のほうも、復興計画を作らないといけないんじゃないかっていうことを質問受けて、作るとは明言されていませんけれども、しかし総合計画そのものはやっぱりちょっと見直しをしないといけないだろうと。ということは、それは復興計画を作っていくということと繋がっていくんだろうと。それは復興計画には半年くらいかかるかな、半年というところとちょうど委員さんおっしゃったように4月くらいのところかな、それには大体固まりつつある。

それを教育委員会だけが、学校適正配置の推進ですよとっていきのいいのか、市全体の計画と一緒に、市全体でいけば40億超える、もっとかかるのではないかと。

だったら我慢するところは我慢しないといけない。ここと合わせながら進めていくというほうが、全体像が見えてくるのではないかなど。

委員 復興計画とリンクしながらやっていくというのがいいと思います。それでも反対される方はもちろんありますけれども。

教育長 ありますけれども。

委員 それはまあそれとして。

教育長 復興計画がいつ頃出来上がるものかわかりませんが、しかし今度うちが今のままで行くというのにも必要なだけども、地震があったことをどうするんだということが必ず出ますから。そういうことを考えると、市全体の問題かなと大分みなさんの認識にはなってますから、市長も基本方針としてこの推進計画を見直すという、そういうのではないよということはあるから。

委員 数も予算も減っていく中で、なおかつ地震、災害復興にも力を入れないといけないです。その中で地盤とか地域がどうというのではなくて、市全体として考えていきましょうというふうに持っていけばいいと思いますしね。

委員 公民館がきちんとなつて、公民館が拠点になり、学校を拠点にするというのも今までどおり残してくれという話になるでしょうから、そういうタイミングがね、よろしいです、市全体の流れの中で従来の公民館の拠点はちゃんと出来ました、次に進んでいくために、市として学校の統合もきちっとやっていきましょうという流れがいいと思います。

教育長 その辺も、今日市長さんと協議しながらですね、やはりどうしてもひとつ進めていくためには、地震をどう捉え直していくのかというのは考えていかなくちゃいけないし、しかも統合する時に限って例えば上小鴨と小鴨の時には、小鴨のところの民地を買ってくれてという要望もありましたし、社に持っていくことについても社の公地を広げて欲しいという要望もありました。成徳明倫についても、成徳はこれだけいいのが出来ていて、明倫のほうにもうちちょっとあそこ手直しをしていく必要があるんじゃないかなと、財政がどうしてもかかって来ますから、そういうこととなると復興計画を見ながらというのもひとつの手かなという感じですよ。

委員 賛成です。

委員 切り離して考えて、住民に説明しても納得はしてもらえないと思います。

やはり地震というものを体験して、本来地震の被害とかそういう状況と、学校統合もそういう予算的なことを含めて、やはりきちんと住民に話さないといけないと思うのでそういう形がいいんじゃないかと思います。

教育長 一応そういうような腹づもりで、うちとしては基本線はもう行きますよと。

じゃあ突っ張っていくじゃなしに、どうやっていくかということについては協議しながらということで、今日の総合会議が一番大きなものでありますし。ということでこれを出させていただくということで進めさせていただきたいと思います。

それから次のページはスケジュールですけど、これはどうなるかわからない状況というところですね。それから 29 ページは 10 月のちょうど地震前に、特集でこれをまとめてみましたので、これを見ると県内でもそれぞれずっと動いているわけですよ。ですから、やらざるを得ないということもあるとは思いますがね。

ではこれは引き続き議論していくというところで、ちょっとそこのところは少し間を置く必要があるだろうということで、話を進めていきたいなと思っております。

それでは協議事項よろしゅうございましょうか。
(各委員意見なし)

6 教育長報告

○教育長報告（教育長 別紙のとおり）

7 報告事項

○平成 28 年度教育費補正予算について（人件費関連等）

委員 この繰越明許費というのは専門用語なんですか？

教育長 はい、あまり使わないですね。

委員 なんか意味があるのかなと思って。わかりました、ありがとうございます。

事務局長 翌年度の予算まだ決まってないですから、翌年度にまたがって契約しようとかそういった場合に、例えば繰越をして枠をとってやるとか、今年度の工事がどうしても済まないの、予算ごと事業を繰り越してやる、そういった場合に繰り越してやる。

教育総務課長 自治法の中に様式が決まっております、それに従っています。

委員 ひとついいですかね、一応完了予定時期が書いてあるんですけども、これは順調に入札がうまくいって、業者が決まって、というパターンだとは思いますが、東北震災でも熊本でも不調というのが多くありますので、ここも当然なってくるなど想像出来ます。

なんかそこで、枠といいますか指定業者といいますか、県内に限らずだとか、手立てとかそういう予定というのはあるんでしょうか。

教育長 今のところは、そこまではないです。

あまり県外を入れると、また市議会議員さんから出来るだけ市内を使えと言われてすし。

事務局長 屋根屋さんとか特殊な業種においては不足すると思いますが、本体の建築屋さんというかこの辺でいう大手の建築屋さんとはそれほどにはないと思いますけれども。

委員 その辺がちょっと。それで出来ればそれが一番良かもしれなんですけれども。

委員 体育施設なんかはね、完成決定時期が9月ということで、ちょうど夏のシーズンが借りれないんですけれども、できれば早くできる所もあっての、最後の最後が9月かなと思うんですけれども、なんかいろんな各種大会もあるかと思えますけれども。

生涯学習課長 この完成時期9月というのは、今おっしゃられたとおりでございます。一番最後の最後が9月かなと思います。

施設として約10施設程度が復旧の該当になってくるわけですので、早く終わればなるべく早く終えたいという形で、早期にそういう形で行きたいと思えます。

その中でもやはり、温水プールと陸上競技場というのが、温水プールが特に夏をとにかく目指したいという思いではあるんですが、開けてみないとわからないというところもあるということがあり、ちょっと余裕を持って9月という形にしているということでもあります。

委員 陸上競技場が早くなるといいですね。

生涯学習課長 陸上競技場のほうについては、予算のほうはこれからになりますけれども女子駅伝、日本海駅伝その時期に間に合うように、なんとかやっていきたいという思いで進めていきたいというところでございます。

教育長 よろしいでしょうか。

(各委員意見なし)

○学校教育課（学校教育課長 資料に沿って説明）

(1) 校区外就学の承認について

教育長 学校教育課の方から説明がございましたが、そのうち区域外・校区外就学の承認、不登校・問題行動の状況については、児童生徒の個人情報が含まれますので非公開としたいと思います。

各委員 (異議なし)

〔以下、非公開〕

〔以下、公開〕

(3) 菜の花プロジェクトについて

(4) 第2回生徒指導対策推進会議について

(5) 卒業式の日程について

○生涯学習課

(1) 第8回「家庭の日」絵画・ポスター作品展示について

(2) 平成28年度生涯学習講座実施結果について

○文化財課

(1) 倉吉淀屋利用状況について

○倉吉博物館

(1) 博物館資料の震災被害について

(2) 博物館講座「倉吉の茶の湯」事業報告について

○倉吉市立図書館

(1) 山上憶良短歌賞応募 予想を超える6,000首余について

(2) 山上憶良・土屋文明歌碑製作について

(3) 韓国語でおはなしかい 好評実施について

○学校給食センター

(1) 学校給食の現状と今後の見通しについて

(2) 倉吉市学校給食週間「児童・生徒作品展」について

委員 今回の給食センターの報告、被害等読ませていただいて、それと学校からの各校長先生がしておられる便りを見せてもらって感じたことは、当たり前になっていた給食が、やはりこういう想定もしなかった大きな地震で出来なくなった。でもいろんな方々のお気持ちとかボランティアとか協力によって、子ども達がそれなりに食べて、また親は大変だけど親の弁当を食べる機会がこの度ありました。

それはやっぱり学校の中でも捉えていらっしゃるようで、そういうことは、本当にありがたいというか、そういうものを校長先生方も子ども達にずっと伝えていращ

やるんだなというのを、この学校だよりを見ながら感じさせていただきました。

やはりこういう時だからこそ、そういうことのありがたさとか、そういうものをしっかり伝えてもらって、私達家庭の中でも伝えていけたらなというのを、便りを見ながら感じさせていただきました。一日も早く復旧することは願っておりますけれども、本当にありがたいなというふうに感じております。

委員

生涯学習講座の、みちをひらくについてなんですけれども、残念ながら中止になった第3回、それから体験講座とかっていうのも、これは申し込み自体はしておられたとして、どのくらいあったのかなとちょっと興味があるんですけれども。

生涯学習課長

第3回の講座のほうについては、基本的には受講生とパスポートのほうをお持ちの方がいらっしゃる、約それが90名ぐらいいらっしゃるかと思います。それと、この日ばかりは当日の参加が多分多いだろうなということで、別室まで作る予定にしようとした、別室でモニターを見ていただけるようにということで予定をしようとしたんですけれども、残念ながら。

具体的な数字はわかりませんが、私も行きたかったという方は沢山聞きました。

委員

じゃあまた、来年度ですね。

生涯学習課長

そうですね、また今、ひなびたの動きというのは、どんどん進んできております。今さら聞けないんですけれども、あえて倉吉市民の方々に、こんな思いを持ってやっているんだよということを聞いていただくような機会というのは、これからでもあるかと思いますので、来年度以降もう一度チャレンジしていきたいなと思います。

教育長

その他よろしいでしょうか。

山上憶良の関連事業の中で、演劇をしてもらいましたよね。あれをNCNのケーブルで放送するというのは出てましたよね。

図書館長

すみません、今資料持ってきますので、1月のそれこそ正月早々にですね、ケーブルテレビのほうで、山上憶良創作演劇「憶良の翼」という題がついておりますけれども、放送がされるということでございます。2月にもされますのでぜひご覧いただければと思います。

教育長

録画されてもいいですし、こういうCDを作ってくれてまして7,200円になってます。放送権のこともありますので。そういうのもちょっと営業であります。なかなかよくがんばってくださったなと。

それから短歌が6,000首超えてという。市内の子がもらえんようにならせんかいな。

委員

高校生がすごく増えたということですかね、これね。

図書館長

高校生も増えました。

教育長

県外の高校では、それなりにそれ狙いのところから来てますね。ですからさっきおっしゃっていたように、ちょっと見て、あ、学習院だわ。と思ってね。歌会始めのあの選ばれた子もいましたね。いよいよ表彰が飛んでっちゃったなと思って。

委員

なんかカテゴリーを設けないといけないんじゃないですか。経験年数とか。

教育長

市内のね、TPPじゃないけど。でも本当にありがたいことだなと思いました。それから、市民の協力、これも本来ここで報告すべきかどうかですけれども、市民のみなさんからこれだけたくさん浄財が集まったというのは、本当にありがたいことです。中にはこういうのは当然市のほうが設置すべきでないのというのはあったみたいなんですけれども。

教育長

というふうなことで、とっても素敵な 1300 年の事業でよかったなと思いましたが、地震で大分がたがたとききましたけれども、でもきちっと位置づいているなという感じがしました。

給食センターも、さっき委員さんがおっしゃいましたけれども、本当に給食センターのほうも努力してくださっていて、何が可能かというのを必死になってやってくださってますので、ありがたいなと思っております。

それでは報告事項はよろしゅうございましょうか。

(各委員ご意見なし)

8 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）午後 3 時

場 所：倉吉市役所 第 3 会議室

午後 3 時終了

9 閉会